

(1時間：45分)

	授 業 科 目	必須／選択の別	学年	標準時間数
11630	Webアプリケーション構築	必須	4	120
13030	リーディング・ライティング応用	〃	4	60
13420	AWSクラウド技術	〃	4	90
13630	フロント開発技術	〃	4	30
14270	システム構築総合演習	〃	4	180
14360	企画と提案	〃	4	30
99990	卒業研究	〃	4	240
小計				750
98154	総合情報処理5-2 (レベル2)	必須選択 ※1	4	60
98155	総合情報処理5-2 (レベル3)	〃	4	60
98156	総合情報処理5-2 (レベル4)	〃	4	60
99108	自主課題研究5-2	〃	4	60
98161	総合情報処理6 (レベル2)	〃	4	150
98162	総合情報処理6 (レベル3)	〃	4	150
98163	総合情報処理6 (レベル4)	〃	4	150
99109	自主課題研究6	〃	4	150
14510	プロジェクトマネジメント	選択 ※2	4	30
小計				210
必須科目計				960

※1 必須選択は、各太枠内から1科目選択する。

※2 3年次に履修していないときに必須選択とする。履修したとき合計990時限となる。

月	HCS共通行事		外部資格試験		大学コーススクーリング・試験日程		大学併修科 4年		
4	1	火	前期授業開始			1	火	前期インターネットメディア授業開始	【大学科目】 卒業論文 【専門学校科目】 Webアプリケーション構築 企画と提案 フロント開発技術 AWSクラウド技術 リーディング・ライティング応用 就職対策2 プロジェクトマネジメント 総合情報処理5-2(レベル2~4) 自主課題研究5-2
	3	木	HIU入学式(新入生)						
	4	金	入学式(新入生)						
	7	月	オリエンテーション・防犯講話(新入生)			7	月	前期IPメディア授業放映開始	
	8	火	授業開始・オリエンテーション(新入生)						
	21	月	健康診断(4/24まで)						
	22	火	G-DREAMS ボウリング大会	20	日	情報処理技術者試験			
5	7	水	新入生保護者会 5/16 まで						
						19	月	印刷・インターネットメディア授業科目試験① ~26(月)	
			ボウリング大会						
6	10	火	運動会					システム構築総合演習 総合情報処理6(レベル2~4) 自主課題研究6	
	17	火	献血						
7									
				13	日	マルチメディア検定			
				27	日	基本情報技術者試験 科目A免除修了試験	15	火	印刷・インターネットメディア授業科目試験② ~22(火)
	26	土	夏休み 8/19まで						
8									
	20	水	夏休み明け授業開始						
9	5	金	学園祭			1	月	後期IPメディア授業放映開始	【資格試験】 ・情報セキュリティマネジメント試験 ・基本情報技術者試験 ・応用情報技術者試験 (基本情報技術者試験取得者) ・高度種技術者試験 (応用情報技術者試験取得者)
	25	木	TGS2025 9/28まで					情報システム試験	

科目番号：A-50272

科目名		時間数(90分)			
Web アプリケーション構築		講義	演習	実習	合計
		10	50		60
科目概要	<p>サーバサイドプログラミングの基本である Java サーブレットと JSP の概念や仕組み、データベースとの連携などを学習し、簡単な Web アプリケーションを構築する。</p> <p>なお、本科目は IT 企業でシステム開発にかかわる実務経験を持つ講師が、幅広い知識と経験を活かして授業を行う。</p>				
学習到達目標	<p>Java 言語における開発環境の整備ができ、JSP, Servlet, JavaBeans の作成ができる。</p> <p>また、JDBC を使ったデータベースアクセスの実装ができる。</p>				
講義計画	回	内容	回	内容	
	1 3 ～ 6 7 ～ 15	Web サーバーの構成要素 環境設定 簡単な Web アプリケーション 演習課題	24 ～ 29 30 ～ 35	JavaBeans 演習課題 JDBC ドライバーによる DB 操作 演習課題	
16 ～ 19	JSP 演習課題	36 37 38 ～ 60	ユーザー認証 演習課題 総合演習課題		
20 ～ 23	プログラム間のつながり 演習課題				
使用教材	書籍名			出版社	
	主教材	Spring Framework 超入門 改訂新版		技術評論社	
副教材					
実習環境	Eclipse Tomcat Oracle Database				
目標資格	資格名			実施団体	
成績評価方法	・課題提出 (100%)		<p><評価基準> 100～90点：秀 89～80点：優 79～70点：良 69～60点：可 59点以下：不可</p>		

科目番号：R-41981

科目名		時間数(90分)			
リーディング・ライティング応用		講義	演習	実習	合計
		5	25		30
科目概要	卒業論文執筆に必要なリーディング(資料・論文の精読)とライティング(論文執筆技術)のスキルを強化する。論文の構成、論理的な文章表現、適切な引用方法を学び、質の高い卒業論文の作成を目指していく。				
学習到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・ 学術論文の読み方を理解し、重要な情報を的確に把握できるようになる ・ 論理的な文章構成を理解し、明確で説得力のある論文を書けるようになる ・ 適切な引用・参考文献の管理方法を習得し、正しいフォーマットで記述できるようになる ・ 卒業論文のテーマに沿った資料収集と分析ができるようになる ・ フィードバックを受けて論文を改善し、最終稿を仕上げるスキルを身につける ・ 発表資料の作成とプレゼンテーション能力を向上させる 				
講義計画	回	内容	回	内容	
	1 ～ 5	論文執筆の基礎 ・ 卒業論文執筆の流れとスケジュール管理 ・ 学術論文のリーディング(基本編) ・ 学術論文のリーディング(応用編) ・ テーマに沿った資料収集と分析 ・ 卒業論文の構成とアウトライン作成 ・ 明確で説得力のある文章の書き方	16 ～ 25	各自の進捗確認・個別指導 スライド作成の技術と視覚資料の活用 プレゼンテーション準備	
	6 ～ 15	論文執筆の実践 ・ 研究方法・データ分析の書き方 ・ 先行研究の整理と文献レビュー ・ 引用・参考文献の正しい記述方法 ・ 論文の推敲と改善(複数回) ・ 卒業論文の結論と考察の書き方 ・ 論文の最終調整とフォーマット確認	26 ～ 30	卒業論文の最終チェック (誤字・表現・体裁の確認)	
使用教材	書籍名			出版社	
	主教材				
	副教材				
実習環境					
目標資格	資格名			実施団体	
成績評価方法	・ 課題提出(100%)			<評価基準> 100～90点：秀 89～80点：優 79～70点：良 69～60点：可 59点以下：不可	

科目番号：R-42001

科目名		時間数(90分)			
AWSクラウド技術		講義	演習	実習	合計
		15	30		45
科目概要	AWSクラウドサービス全般の知識について、AWS基礎講義と演習問題を通して習得する。				
学習到達目標	ネットワークの仕組みやクラウドサービス用語、特にAWS用語を理解する。 また、AWS認定クラウドプラクティショナー資格取得に向け、サービスの知識を習得する。				
講義計画	回	内容	回	内容	
	1	AWS認定試験について	21	・[認定対策]マネジメントサービス	
	2	・CloudQuest	22		
	3	・[認定対策]グローバルインフラストラクチャ	23	・[認定対策]料金とサポート	
	4		24		
	5	・[認定対策]コンピューティングサービス	25	・[認定対策]移行とイノベーション	
	6		26		
	7 ～ 11	・[認定対策]ネットワークとコンテンツ配信	27 ～ 37	・[認定対策]AWS Well-Architected	
	12	・[認定対策]ストレージサービス	38		
	13		39		
14 ～ 17	・[認定対策]データベースサービス	40 ～ 43	・[認定対策]総合演習		
18	・[認定対策]セキュリティサービス	44			・最終試験対策
19		44			
20	・中間試験	45	・最終試験		
使用教材	書籍名		出版社		
	主教材	AWSではじめるインフラ構築入門 第2版	翔泳社		
	副教材				
実習環境	AWS Academy Foundation				
	AWS Academy Learner Lab				
目標資格	資格名		実施団体		
	AWS認定クラウドプラクティショナー		AWS		
成績評価方法	・科目試験(100%) 中間試験 期末試験		<評価基準>		
			100～90点：秀	89～80点：優	79～70点：良
			69～60点：可	59点以下：不可	

科目番号 : A-51221

科目名		時間数(90分)			
フロント開発技術		講義	演習	実習	合計
			15		15
科目概要	Webアプリケーションを開発する上で必要となる JavaScript について、講義・演習・実習課題を通して基本文法から動的な Web ページの開発方法までを習得する。				
学習到達目標	<p>Webアプリケーションの構築や開発を望む企業に対し、JavaScript と HTML5 を使用してより良い解決方法を提案できる開発手法を身に付ける。</p> <p>JavaScript と Bootstrap を活用して、見栄えのする動的な Web ページを作成する技術を身に付ける。</p>				
講義計画	回	内容	回	内容	
	1	イントロダクション(環境構築など)			
	2	アウトプットの基本			
	3	Bootstrap 入門			
	4				
	5	JavaScript の文法と基本的な機能			
	6				
	7	インプットとデータの加工			
	8				
	9	動的な Web ページの作成			
	12				
	13	外部データを活用したアプリケーション			
	14				
	15	成果物提出			
使用教材	書籍名		出版社		
	主教材	確かな力が身につく JavaScript 「超」入門	SBクリエイティブ		
	副教材				
実習環境	エディタ (Visual Studio Code)				
目標資格	資格名		実施団体		
成績評価方法	・課題提出 (100%)		<評価基準> 100～90点：秀 89～80点：優 79～70点：良 69～60点：可 59点以下：不可		

科目番号：A-50962

科目名		時間数(90分)			
システム構築総合演習		講義	演習	実習	合計
		5	85		90
科目概要	<p>顧客の要求から要件定義を作成する手順や仕様を決定し、システム開発について一連の工程を通して、即実践に対応できるスキルを学ぶ。</p> <p>なお、本科目は IT 企業でシステム開発に携わった実務経験を持つ講師が、幅広い知識と経験を活かして授業を行う。</p>				
学習到達目標	<p>設計、構築、実装の技術を確認しながら即実践に対応できるシステムをグループで調査し作成する。上流工程から下流工程まで一連のシステム開発を実践する力を身に付ける。</p>				
講義計画	回	内容	回	内容	
	1～2	提案を知ろう ・グループ分け ・開発案件の選択	90	提出 ・プログラム本体 ・ドキュメント一式	
	3～5	提案書の書き方 ・要件定義書の確認			
	6～34	要件定義の作成 ・ヒアリング ・議事録			
	35	要件定義の提出			
	36～38	設計書の書き方 ・UML ・DB 設計書 ・画面設計書			
	39～79	システム開発 ・コーディング規約 ・テスト設計書の作成			
	80～89	プレゼンテーション ・開発システムのプレゼンテーション			
使用教材	書籍名		出版社		
	主教材	ずっと受けたかったソフトウェアエンジニアリングの新人研修 第3版 エンジニアになったら押さえておきたい基礎知識	翔泳社		
	副教材				
実習環境					
目標資格	資格名		実施団体		
成績評価方法	・課題提出 (100%) 別途定める評価シートに基づく		<評価基準> 100～90点：秀 89～80点：優 79～70点：良 69～60点：可 59点以下：不可		

科目名		時間数(90分)				
		講義	演習	実習	合計	
企画と提案		3	12		15	
科目概要	提案書作成という課題を通して、決められたテーマについて「考え」「話し合い」「プレゼンテーション」を行うことで、企画や提案を実現に結びつけるための考え方や技法を習得する。					
学習到達目標	企画、提案の基本的な考え方を理解するとともに、導き出したアイデアを提案書としてまとめ、訴求力のあるプレゼンテーションによって聴衆に提案内容を理解させることができる。					
講義計画	回	内容		回	内容	
	1	提案を知ろう				
	2	提案書の書き方				
	3	アイデアの収集と集約				
	4	話し合い①				
	5					
	6	話し合い②				
	7					
	8	提案書作成とプレゼン準備				
	9					
	10					
	11	提案(プレゼンテーション)				
	12					
	13					
	14					
	15	まとめ				
使用教材	書籍名		出版社			
	主教材	企画と提案(学習ノート)		SCC		
	副教材					
実習環境	Microsoft Office Word 2019					
	Microsoft Office PowerPoint 2019					
目標資格	資格名		実施団体			
成績評価方法	・課題提出(100%)		<評価基準> 100~80点：秀 89~80点：優 79~70点：良 69~60点：可 59点以下：不可			

科目番号：A-50171

科目名		時間数(90分)			
卒業研究		講義	演習	実習	合計
			120		120
科目概要	実施テーマは新年度初頭に各講師から提示され、受講学生は希望に応じてテーマを1つ選択する。各テーマを選択した学生は、学科で得られた専門知識を活用し、指導講師の指導のもとで研究活動を行う。				
学習到達目標	各学科の専門分野で習得した知識を駆使して、理解力、積極性、論理性、協働性、計画性、継続性などの能力を総合的に発揮する。研究成果物を完成させ卒業研究発表を通して、計画立案、実行能力、目標達成能力も合わせて身に付ける。				
講義計画	回	内容	回	内容	
	1	ガイダンス			
	2-4	研究サブテーマ検討・選定			
	5-9	卒業研究環境構築			
	10-30	卒業研究開発			
	31-36	卒業研究レビュー1			
	37-66	卒業研究開発			
	67-72	卒業研究レビュー2			
	73-99	卒業研究開発			
	100-109	卒業研究発表の資料作成と推敲			
	110-120	個別研究の完成と発表			
使用教材	書籍名			出版社	
	主教材	各指導講師に委ねる			
	副教材				
実習環境					
目標資格	資格名			実施団体	
	各ゼミで目標設定された資格 例：MOS、LPIC等				
成績評価方法	<ul style="list-style-type: none"> 課題提出 (75%) プレゼン (25%) 			<評価基準> 100~90点：秀 89~80点：優 79~70点：良 69~60点：可 59点以下：不可	

科目番号：A-41331

科目名		時間数(90分)			
総合情報処理 5-2 (レベル 2)		講義	演習	実習	合計
		30			30
科目概要	総合情報処理 5-1 レベ2の継続科目で、経済産業省が、情報処理技術者としての「知識・技能」が一定以上の水準であることを認定している国家試験取得を目標に、独立行政法人情報処理推進機構が提供するレベル2：「基本情報技術者試験（レベル2）」シラバスに準拠した知識を習得する。				
学習到達目標	レベル2：「基本情報技術者試験（レベル2）」シラバスに従い体系的に学習し、基本情報技術者試験の取得レベルの知識を身に付ける。				
講義計画	回	内容	回	内容	
	1-2	サービスマネジメント/システム監査			
	3	システム戦略/システム企画			
	4-6	経営戦略マネジメント/技術戦略マネジメント/ビジネスインダストリ			
	7-12	企業活動/法務			
	13-15	模試3			
	16-18	弱点補強3			
	19-22	弱点補強 言語系			
	23-26	弱点補強 設計系			
	27-30	国家試験			
使用教材	書籍名		出版社		
	主教材	各コースで選定された対策テキスト			
	副教材				
実習環境					
目標資格	資格名		実施団体		
	基本情報技術者試験		IPA 独立法人情報処理推進機構		
	情報セキュリティマネジメント試験		IPA 独立法人情報処理推進機構		
成績評価方法	・科目試験（100%）		<評価基準> 100～90点：秀 89～80点：優 79～70点：良 69～60点：可 59点以下：不可		

科目番号：A-41341

科目名		時間数(90分)			
総合情報処理 5-2 (レベル 3)		講義	演習	実習	合計
		30			30
科目概要	総合情報処理 5-1 レベル 3 の継続科目で、経済産業省が、情報処理技術者としての「知識・技能」が一定以上の水準であることを認定している国家試験取得を目標に、独立行政法人情報処理推進機構が提供するレベル 3：「応用情報技術者試験 (レベル 3)」シラバスに準拠した知識を習得する。				
学習到達目標	レベル 3：「応用情報技術者試験 (レベル 3)」シラバスに従い体系的に学習し、応用情報技術者試験の取得レベルの知識を身に付ける。				
講義計画	回	内容		回	内容
	1-6	AM対策			
	7-13	PM対策			
	14-16	模擬試験 1			
	17-20	弱点補強 1			
	21-23	模擬試験 2			
	24-30	弱点補強 2			
使用教材	書籍名		出版社		
	主教材	各コースで選定された対策テキスト			
	副教材				
実習環境					
目標資格	資格名		実施団体		
	応用情報技術者試験		IPA 独立法人情報処理推進機構		
成績評価方法	・科目試験 (100%)		<評価基準> 100～90点：秀		
			89～80点：優		
		79～70点：良			
		69～60点：可			
		59点以下：不可			

科目番号：A-41351

科目名		時間数(90分)					
総合情報処理 5-2 (レベル 4)		講義	演習	実習	合計		
		30			30		
科目概要	総合情報処理 5-1 レベル 4 の継続科目で、情報セキュリティスペシャリスト試験の後継となる試験で情報セキュリティに関する高度な知識・技能（スキルレベル 4）を認定する試験である情報処理安全確保支援士試験取得を目標に、独立行政法人情報処理推進機構が提供するレベル 4：「情報処理安全確保支援士試験（レベル 4）」シラバスに準拠した知識を習得する。						
学習到達目標	レベル 4：「情報処理安全確保支援士試験（レベル 4）」シラバスに従い体系的に学習し、情報処理安全確保支援士試験の取得レベルの知識を身に付ける。						
講義計画	回	内容		回	内容		
	1	AM対策					
	2-4	模擬試験 2					
	5-10	模擬試験 2 解説					
	11	AM対策					
	12-14	模擬試験 3					
	15-20	模擬試験 3 解説					
	21-27	弱点対策					
	28-30	国家試験					
使用教材	書籍名			出版社			
	主教材	各コースで選定された対策テキスト					
	副教材						
実習環境							
目標資格	資格名			実施団体			
	情報処理安全確保支援士試験			IPA 独立法人情報処理推進機構			
成績評価方法	・科目試験（100％）			<評価基準> 100～90点：秀 89～80点：優 79～70点：良 69～60点：可 59点以下：不可			

科目番号：A-41361

科目名		時間数(90分)				
自主課題研究 5-2		講義	演習	実習	合計	
			30		30	
科目概要	自主課題研究 5-1 の継続科目で、各自設定したテーマにもとづいて創作(学習)活動をする。学習した内容を総合的に活用し、社会人として実践的に活用可能なテーマを個人ごとに設定し、創作(学習)活動をする。 ① 過去に習得したゲーム開発技術を応用し、自分のスキルをアピールすることができる作品の制作を目指す。 ② 高度種等の国家試験取得をテーマに設定した場合は、独立行政法人情報処理推進機構が提供する目標資格シラバスにもとづいて、各自スケジュールを管理して学習する。					
学習到達目標	所属学科によって選択するものは異なる。 ① クリエイタ系の就職活動で必須となる作品審査に提出することのできるゲーム作品を1作品完成させるとともに付随する作品紹介資料を完成させる。 ② 国家試験取得をテーマに設定した場合は、独立行政法人情報処理推進機構が提供するシラバスに準拠した知識を身に付ける。					
講義計画	回	内容		回	内容	
	1-30	自主創作(学習)活動				
使用教材	書籍名			出版社		
	主教材	各自必要となるテキストを用意				
副教材						
実習環境						
目標資格	資格名			実施団体		
成績評価方法	・課題提出 (100%)			<評価基準> 100～80点：秀 89～80点：優 79～70点：良 69～60点：可 59点以下：不可		

科目番号：A-41371

科目名		時間数(90分)			
総合情報処理6(レベル2)		講義	演習	実習	合計
		75			75
科目概要	経済産業省が、情報処理技術者としての「知識・技能」が一定以上の水準であることを認定している国家試験取得を目標に、独立行政法人情報処理推進機構が提供するレベル2:「基本情報技術者試験(レベル2)」シラバスに準拠した知識を習得する。				
学習到達目標	レベル2:「基本情報技術者試験(レベル2)」シラバスに従い体系的に学習し、基本情報技術者試験の取得レベルの知識を身に付ける。				
講義計画	回	内容	回	内容	
	1-5	ガイダンス、基礎理論	57-58	サービスマネジメントとシステム監査	
	6-15	アルゴリズムとプログラミング	59	システム戦略と企画	
	16-20	コンピュータ構成要素	60-61	戦略マネジメント	
	21-22	システム構成要素	62-66	企業活動と法務	
	23-26	ソフトウェア/ハードウェア	67-68	模試3	
	27	ヒューマンインタフェース/マルチメディア	69-72	弱点補強3	
	28-29	模試1	73-75	国家試験	
	30	弱点補強1			
	31-35	データベース			
	36-44	ネットワーク/セキュリティ			
	45-49	システム開発技術			
	50-51	模試2			
	52	弱点補強2			
	53-54	ソフトウェア開発管理技術			
55-56	プロジェクトマネジメント				
使用教材	書籍名		出版社		
	主教材	各コースで選定された対策テキスト			
	副教材				
実習環境					
目標資格	資格名		実施団体		
	基本情報技術者試験		IPA 独立法人情報処理推進機構		
	情報セキュリティマネジメント試験		IPA 独立法人情報処理推進機構		
成績評価方法	・科目試験(100%)		<評価基準> 100~90点: 秀 89~80点: 優 79~70点: 良 69~60点: 可 59点以下: 不可		

科目番号：A-41381

科目名		時間数(90分)			
総合情報処理6(レベル3)		講義	演習	実習	合計
		75			75
科目概要	経済産業省が、情報処理技術者としての「知識・技能」が一定以上の水準であることを認定している国家試験取得を目標に、独立行政法人情報処理推進機構が提供するレベル3:「応用情報技術者試験(レベル3)」シラバスに準拠した知識を習得する。				
学習到達目標	レベル3:「応用情報技術者試験(レベル3)」シラバスに従い体系的に学習し、応用情報技術者試験の取得レベルの知識を身に付ける。				
講義計画	回	内容	回	内容	
	1	ガイダンス	68-70	模擬試験3	
	2-4	コンピュータ科学基礎	71-72	弱点補強3	
	5-7	コンピュータアーキテクチャ	73-75	国家試験	
	8-10	基本ソフトウェア			
	11-15	通信ネットワーク			
	16-20	データベース			
	21-25	ソフトウェア工学			
	26-30	システム構成技術			
	31-35	マネジメント			
	36-44	AM対策			
	45-53	PM対策			
	54-56	模擬試験1			
	57-60	弱点補強1			
	61-63	模擬試験2			
	64-67	弱点補強2			
使用教材	書籍名			出版社	
	主教材	各コースで選定された対策テキスト			
	副教材				
実習環境					
目標資格	資格名			実施団体	
	応用情報技術者試験			IPA 独立法人情報処理推進機構	
成績評価方法	・科目試験(100%)			<評価基準> 100~90点: 秀 89~80点: 優 79~70点: 良 69~60点: 可 59点以下: 不可	

科目番号：A-41391

科目名		時間数(90分)			
総合情報処理6(レベル4)		講義	演習	実習	合計
		75			75
科目概要	情報セキュリティスペシャリスト試験の後継となる試験で情報セキュリティに関する高度な知識・技能(スキルレベル4)を認定する試験である情報処理安全確保支援士試験取得を目標に、独立行政法人情報処理推進機構が提供するレベル4:「情報処理安全確保支援士試験(レベル4)」シラバスに準拠した知識を習得する。				
学習到達目標	レベル4:「情報処理安全確保支援士試験(レベル4)」シラバスに従い体系的に学習し、情報処理安全確保支援士試験の取得レベルの知識を身に付ける。				
講義計画	回	内容	回	内容	
	1	ガイダンス	52-54	模擬試験3	
	2-3	情報セキュリティ	55-60	模擬試験3解説	
	4	リスクマネジメント	61-72	弱点対策	
	5-12	主な侵入・攻撃方法と対策	73-75	国家試験	
	13-15	ネットワークセキュリティ			
	16-18	電子メール、Webアプリケーション			
	19-26	認証技術			
	27-30	情報セキュリティマネジメント			
	31	AM対策			
	32-34	模擬試験1			
	35-40	模擬試験1解説			
	41	AM対策			
	42-44	模擬試験2			
	45-50	模擬試験2解説			
51	AM対策				
使用教材	書籍名		出版社		
	主教材	各コースで選定された対策テキスト			
	副教材				
実習環境					
目標資格	資格名		実施団体		
	情報処理安全確保支援士試験		IPA 独立法人情報処理推進機構		
成績評価方法	・科目試験(100%)		<評価基準> 100~90点: 秀		
			89~80点: 優		
		79~70点: 良			
		69~60点: 可			
		59点以下: 不可			

科目番号：A-41401

科目名		時間数(90分)					
自主課題研究6		講義	演習	実習	合計		
			75		75		
科目概要	<p>学習した内容を総合的に活用し、社会人として実践的に活用可能なテーマを個人ごとに設定し、創作(学習)活動をする。</p> <p>① 過去に習得したゲーム開発技術を応用し、自分のスキルをアピールすることができる作品の制作を目指す。</p> <p>② 高度種等の国家試験取得をテーマに設定した場合は、独立行政法人情報処理推進機構が提供する目標資格シラバスにもとづいて、各自スケジュールを管理して学習する。</p>						
学習到達目標	<p>所属学科によって選択するものは異なる。</p> <p>① クリエイタ系の就職活動で必須となる作品審査に提出することのできるゲーム作品を1作品完成させるとともに付随する作品紹介資料を完成させる。</p> <p>② 国家試験取得をテーマに設定した場合は、独立行政法人情報処理推進機構が提供するシラバスに準拠した知識を身に付ける。</p>						
講義計画	回	内容		回	内容		
	1	ガイダンス					
	2-3	学習テーマ設定					
	4-75	自主創作(学習)活動					
使用教材	書籍名			出版社			
	主教材	各自必要となるテキストを用意					
	副教材						
実習環境							
目標資格	資格名			実施団体			
成績評価方法	<ul style="list-style-type: none"> 課題提出1 (50%) 課題提出2 (50%) 		<p><評価基準> 100~80点：秀 89~80点：優 79~70点：良 69~60点：可 59点以下：不可</p>				

科目番号 : A-51311

科目名		時間数(90分)			
		講義	演習	実習	合計
プロジェクトマネジメント		15			15
科目概要	<p>プロジェクトマネジメントとPMBOKの概要について、講義と課題を通して用語知識を習得する。</p> <p>なお、本科目はIT企業でプロジェクトマネジメントの実務経験を持つ講師が、その知識と経験を活かして授業を行う。</p>				
学習到達目標	<p>プロジェクトの目的とPMBOKの概要について理解することにより、将来的にプロジェクトマネージャーとして活躍するための基礎知識を身に付ける。</p>				
講義計画	回	内容	回	内容	
	1	プロジェクトマネジメントとは	14	まとめ	
	2	PMBOKとは	15	科目試験	
	3	プロジェクトの組織構造			
	4	ライフサイクル			
	5	マネジメントプロセス			
	6	総合マネジメント			
	7	スコープ・マネジメント			
	8	タイム・マネジメント			
	9	コスト・マネジメント			
	10	品質・マネジメント			
	11	人的資源・マネジメント			
		コミュニケーション・マネジメント			
	12	リスク・マネジメント			
	13	調達・マネジメント			
		ステークホルダー・マネジメント			
使用教材	書籍名		出版社		
	主教材	プロジェクトマネジメント	SCC		
実習環境					
目標資格	資格名		実施団体		
成績評価方法	・課題提出(20%) ・科目試験(80%) 別途定める評価シートに基づく		<評価基準> 100~90点: 秀 89~80点: 優 79~70点: 良 69~60点: 可 59点以下: 不可		